

集落営農から版

令和5年8月15日VOL.40
大分県西部振興局生産流通部
大分県集落営農推進西部支部

新任部長挨拶

20年ぶりに新知事となり、5月15日付けの人事異動で豊肥振興局生産流通部より赴任いたしました「川辺卓郎(かなべたくろう)」と申します。

農業者の皆様方には、平素より農業振興にご尽力いただき厚くお礼申し上げます。

この3年間、世の中の動きを一変させた新型コロナウイルス感染症の影響も、分類が2類から5類に変更され対面での会合等も増えてきましたが、世界の大きなうねりによる燃料や農業資材の高騰は継続しており、農業を取り巻く厳しい情勢は継続しております。

また、人口減少も喫緊の大きな課題であり、対策の一つとして「仕事を作り、人を呼び込む」ことが求められています。そこで、これまで以上に「一次産業の維持・拡大」は地域を守るためにとっても重要な取組です。

県といたしましても関係機関と連携し、地域資源を活かしながら人づくりを進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



集落営農担当のご紹介

5月の人事異動で集落営農・水田畑地化班も人員の入れ替わりがありました。本年度は以下の分担で集落営農を担当していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。



川村 阿南 橋本 高野

役割分担表(◎:主担当 ○:副担当)			
氏名	地区名		
	日田市	玖珠町	九重町
たかのけいこ 高野圭子	○	○	○
はしもとだいき 橋本泰樹		◎	○
あなんそういちろう 阿南壮一郎	◎		
かわむらこうき 川村虹熙		○	◎

《目次》

- 2ページ:西部ひとめぼれ特A獲得、なつほのかについて
- 3ページ:玖珠九重集落営農組織連絡協議会について
- 4ページ:地域計画、農業情報メールについて

令和4年産「西部ひとめぼれ」

2年連続特A獲得！

令和4年産の「西部ひとめぼれ」が、日本穀物検定協会が発表する米の食味ランキングで、2年連続で特Aを獲得しました。

特Aとは、基準米よりも特に良好なお米に与えられる評価であり、西部地区のひとめぼれが特Aを獲得するのは通算7回目です。過去、平成28年～平成30年にかけては3年連続で特A獲得という偉業も成し遂げています。



(写真は令和5年3月6日の局長報告)

令和5年3月6日には、JAおおいた西部営農経済センターの皆様から西部振興局に特A獲得の報告がありました。

令和4年の水稻作は、トビイロウンカ等の病害虫の大発生がなく、また、9月に台風14号が上陸したものの、栽培期間中の気象条件も概ね良好であり、作況指数が100の評価を得ました。

うれしいニュースがある一方で、米価下落、資材費高騰といった、生産者に対して厳しい現状があります。このような中ではありますが、大分の特A産地としての良食味米生産、高収量を目指した水稻栽培をこれからも継続していきましょう！

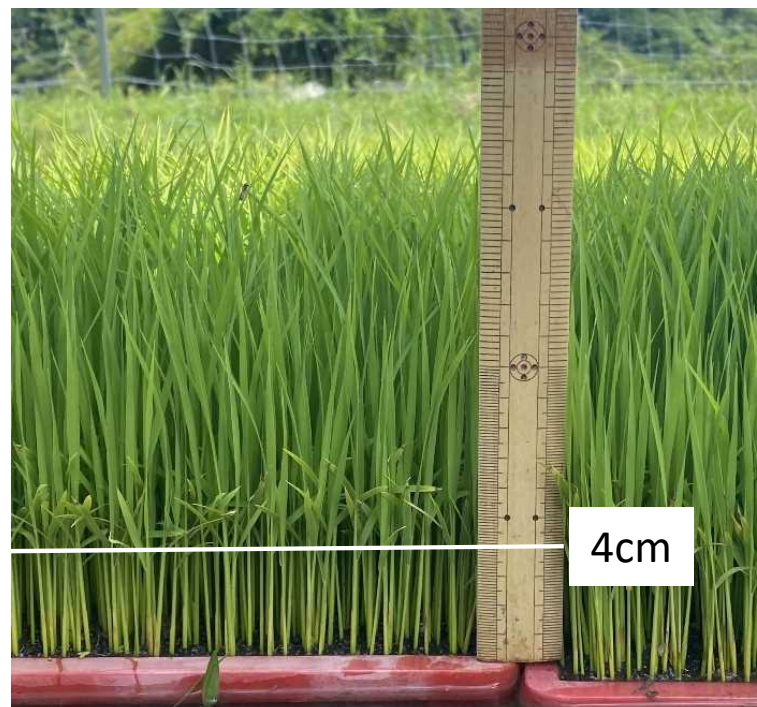
水稻新品種「なつほのか」

令和5年産栽培中！

令和4年度に続き、日田市大字小野の(農)小野谷で水稻新品種「なつほのか」の現地実証栽培を行っております。

「なつほのか」の注意点である苗の徒長について、適期に被覆資材を外すことができ、第1葉鞘高が4～5cmと概ね徒長を抑えた苗を栽培することができました。

7～8月は適期防除と中干しの徹底を心がけた栽培管理を行い、9月～10月は適期収穫を行うよう指導していきます。



＜参考＞R4年度実証ほスケジュール
移植：6/11～出穂期：8/14～成熟期9/28

玖珠九重集落営農組織連絡協議会

3年ぶりの県外研修・代表者会議を開催！

○熊本県へ視察研修

令和5年2月6日～7日、玖珠九重稲作研究部会と合同で視察研修を企画し、球磨郡の(農)多良木のびる、熊本市の(株)グリーンテック、菊池市のJA菊池を視察しました。それぞれ、お米のブランド化・優位販売の取組、集落営農法人の経営多角化の取組、水稻の新規薬剤や最新のドローン技術等について学びました。



コロナ禍の影響で、3年ぶりの視察研修となりましたが、参加者同士で交流を深めていきました。視察中は、先進地の取組や最新技術の説明を受けて参加者から積極的に質問があがるなど、刺激を受けている様子でした。

今後の地域農業の担い手として、集落営農組織や水田農業の経営体の重要性が増していく中、田んぼや景観をどう守っていくか、取組が期待されます。



○代表者会議

令和5年3月22日に望山荘で玖珠九重集落営農組織連絡協議会代表者会議が開催されました。

会議内では第7回食味コンクールについて、令和4年産で良食味米を作った集落営農組織を品種別に表彰しました。

その他にも、令和5年度からの新しい取組として、土壌改良実証プロジェクトの説明を行いました。玖珠町と九重町に1カ所ずつ圃場を設定し、土壌改良資材投入による効果を3カ年追っていきます。

最後に、令和5年度農作業開始に先立ち、農作業安全についての研修を行い、農作業事故の実態について実例や統計、現状をもとにお話しました。

本研修を受け、今一度自身の作業を見直すきっかけになれば幸いです。



「地域計画」の作成に向けて

集落で話し合いが始まっています！

「地域計画」とは、農業者や地域のみなさんの話し合いにより策定される、地域の将来(おおむね10年後)の農地利用の姿を明確化した設計図です。これまで「人・農地プラン」とよばれていたものが、農業経営基盤強化促進法の一部改正に伴い法定化された計画となります。



「地域計画」は、令和5、6年度で各市町村が一定の地区ごとに作成をします。
策定の流れとしては、以下のとおりです。

- ①市町村は、農業者、農業委員会、農地バンク、農協、土地改良区等による協議の場を設け、将来の農業や農地利用の姿について、話し合いを実施します。
- ②これを踏まえて、市町村は、地域の将来の農業の在り方、将来の農地の効率的かつ総合的な利用に関する目標(目標とする農地利用の姿を示した地図(目標地図)を含む)等を定めた「地域計画」を策定・公告します。

農業者のみなさまには、この「地域計画」の策定にむけたアンケートの回答や話し合いへの参加など、ご協力をお願いいたします。

最新の農業情報をお知らせしています

振興局では水稻作を中心に、病虫害や気象災害情報などのメール配信を行っています。

一度アドレスを登録いただければ随時最新の情報をお届けします。情報収集に是非ご利用ください！

*メール配信を希望される方はnosan-seibu@pref.oita.jp宛てにお名前、お住まいの集落名をご記入の上、送信してください。スマートフォンの場合は、右下の2次元コードからメール作成画面へアクセス可能です。



【メール内容具体例】件名：西部振興局メール配信
本文：氏名、住所、集落名

スマホの方は、こちらからメール作成画面へアクセスしてください！

作成・発行 大分県西部振興局生産流通部 集落営農・水田畑地化班
監 修 大分県集落営農推進西部支部
TEL:0973-23-2217 FAX:0973-23-3473
E-mail:nosan-seibu@pref.oita.jp